

年月日 2026. 1. 23

関連会議等 2025 年度「フォーラム」(Web 開催)

協議・決定等特筆事項

【薬制委員会発表】

演 題 中抜け返品等に関する情報共有

発表者 日本医薬品卸売業連合会 薬制委員会 澤井 直子
崎野 健一

【特別講演】

演 題 医療 DX 時代のオンライン診療、オンライン服薬指導

講 師 特定非営利活動法人日本遠隔医療協会 特任上席研究委員 長谷川 高志

年月日 1. 23

関連会議等 第 5 回実務委員会

協議・決定等特筆事項

川守田委員長より挨拶があり、その後 2026 年度実務委員会活動並びに本会主催の研修会等について検討した。

【報告事項】

1. 令和 7 年度日本薬剤師会卸薬剤師部会研修会について

事務局より、令和 7 年度日本薬剤師会卸薬剤師部会研修会の概要についてプログラムに基づき報告があった。今年度は Web 配信での研修会となり、受講者は 73 名であった。

2. 2025 年度「フォーラム」最終確認について

事務局より、2025 年度「フォーラム」についてプログラム等に基づき報告があり、実務委員・事務局の役割分担、タイムスケジュールを確認した。

【検討事項】

1. 年会費改定後の活動について

年会費改定後の活動内容について検討した。収入増額分を実務委員会活動の充実に充てることとし、実務委員の増員並びに小委員会の設置について提案があり、第 2 回常任理事会に上程することとした。詳細については、年会費改定が常任理事会を経て第 49 回理事会において承認された後、検討することとした。

2. 2026 年度「研修会」及び「フォーラム」について

2026 年度事業計画案に基づき、本会主催行事の開催方法及び開催時期等について検討した。「研修会」については、第 49 回理事会(4 月 17 日開催予定)終了後にハイブリッド形式にて開催することとなった。また「フォーラム」は、2027 年 1 月 22 日に行うこととし、内容等については本日開催する 2025 年度「フォーラム」を精査し次回委員会で協議することとした。

3. 創立 50 周年記念事業について

本会の創立 50 周年記念事業について検討した。日時については、2027 年 4 月 23 日を第一候補日とし、記念事業の内容並びにタイムスケジュール等については、本日の検討内容を精査し常任理事会に諮ることとした。

4. その他

坂本副委員長より、毒物・劇物事故対応マニュアル見直しの進捗状況について説明があり、今後メール等で詳細な部分を調整し、改訂することとした。

年月日 3.12

関連会議等 第 2 回常任理事会

協議・決定等特筆事項

師尾会長より開会挨拶の後、2025 年度事業報告・収支決算報告並びにブロック活動報告が行われ、その後 2026 年度事業計画案・収支予算案及び諸課題を検討した。

【報告事項】

1. 2025 年度事業報告

事務局より、2025 年度事業報告案に基づき各項目について報告があった。

(1) 卸勤務薬剤師会の運営

常任理事会、正副会長会議及び実務委員会等について開催状況を報告した。

(2) 都道府県薬剤師会と各エリアでの関係強化対策

(報告事項 3. 参照)

(3) 実務実習薬学生受入について (2026 年 2 月末現在)

実務実習薬学生受入状況について報告があった。

(4) 支部における継続研修の充実 (2026 年 2 月末現在)

継続研修テーマの支部選定状況、各都道府県での活動内容等の報告があった。

(5) 卸勤務薬剤師会主催の「研修会」及び「フォーラム」の運営

それぞれのプログラム及び収支報告書に基づき、開催概要について報告があった。

(6) 日本薬剤師会への協力

① 日本薬剤師会卸薬剤師部会研修会

令和 7 年度日本薬剤師会卸薬剤師部会研修会概要に基づき、研修会内容及び開催方法等について報告があった。

② 日本薬剤師会学術大会への協力

第 58 回日本薬剤師会学術大会 (京都府開催) 聴講報告に基づき報告があった。

(7) 実務委員会活動

本会ホームページ掲載資料の内容確認及び掲載方法の見直しを中心に活動し、毒物・劇物等関連資材の SDS 提供メーカーリンクの更新を行ったとの報告があった。

(8) 卸連合会 (特に薬制委員会) との連携強化

令和 7 年度厚生科学審議会医薬品医療機器制度部会への委員派遣、中抜け返品等事例に関する情報共有について、データベース構築に向けた検討を実施し、2025 年度「フォーラム」において薬制委員会発表を行ったとの報告があった。

2. 2025 年度収支決算報告（2026 年 2 月末現在）

2 月末時点の収支決算書（見込）により、各勘定科目について進捗状況の報告があった。

3. 各ブロック・支部の活動報告

各常任理事より、総会、理事会及び研修会等の開催状況について報告があった。その中で各ブロック・支部とも工夫して開催していることがわかった。今後の課題として、研修会等開催については、会員数の問題等から地域差があるため、卸勤務薬剤師会の協力体制並びに研修会のあり方等の見直しが重要との意見があった。

【検討事項】

1. 年会費の改定について

前回の常任理事会において協議した年会費の改定について、引き続き検討した。事務局より収入増額に伴う活動内容案が提示され、各支部において予算編成等の問題があるため、年会費 3,000 円の増額を 2026 年度理事会に上程し、承認が得られれば 2027 年度から改定することとなった。

2. 2025 年度表彰者及び顕彰者について

各ブロックより推薦があった表彰候補者について検討し、全員が承認された。

3. 2026 年度常任理事会日程について

事務局より提案のあった日程について検討した。第 1 回常任理事会を 2026 年 10 月 21 日、第 2 回常任理事会を 2027 年 3 月 11 日に開催することとした。

4. 2026 年度事業計画案及び収支予算案について

2026 年度事業計画案及び収支予算案を計上し検討した。来月の会務及び会計監査を経て 2026 年度理事会に上程することとした。

5. 准会員入会について

福岡県支部より提出された准会員入会申込み（3 名）について検討し、入会が承認された。

6. 2026 年度「研修会」について

プログラム案等に基づき内容及び開催方法について事務局より説明があり、当日の理事会を含めたタイムスケジュールについて検討した。

常任理事会での報告と協議が終了し小口副会長の挨拶の後、閉会となった。

年月日 4.13

関連会議等 2025 年度会務及び会計監査

協議・決定等特筆事項

監事 1 名による、日本医薬品卸勤務薬剤師会 2025 年度における会務及び会計の諸帳簿、諸帳憑等についての監査が行われた。特に問題はなく、適正であると認められた。

年月日 4.17

関連会議等 第 49 回理事会

協議・決定等特筆事項

理事会構成員 58 名中 40 名出席（委任状 18）

小口副会長による開会宣言に続き、師尾会長の主催者挨拶が行われ、会則第 16 条第 1 項に基づき師尾会長を議長として 2026 年度理事会を開催した。冒頭、議長より議事録署名人として関東ブロック半田和明氏（常任理事）並びに東京支部近藤明美氏（理事）が指名され異議なく選出された。

議 事

【報告事項】

以下の 3 議案について報告が行われ、すべて承認された。

I. 報告第 1 号（事業報告）

河西副会長より、2025 年度事業報告があった。

2025 年度の活動は卸勤務薬剤師の自己研鑽のため、会員の実務に即した研修会により一層の充実と、行政や薬剤師会及び薬学教育協議会との連携を強化した活動を実践した。以下に、2025 年度事業計画に関しての取組結果を報告する。

1. 卸勤務薬剤師会の運営

2025 年度は理事会 1 回、常任理事会 2 回、正副会長会議・実務委員会合同会議 2 回、実務委員会 3 回を開催し、積極的な検討・企画・立案及びその展開を行った。

2. 都道府県薬剤師会と各ブロック（支部）との関係強化対策

2025 年度常任理事会において、各ブロック及び支部における活動状況について、従来の集合研修を見直し、ハイブリッド形式、Web 研修会等を開催方法を変更し活動したとの報告があった。さらに薬剤師会の行事や災害対策の講習会に参加している支部もあり、各都道府県薬剤師会と連携して様々な業務を推進しているとの報告があった。また、研修会において行政に薬事・薬務関連の講演を依頼するなど、連携を深めている支部が多数見受けられた。

3. 実務実習薬学生受入れについて

2015 年度より「ガイドライン」に沿った内容で実施し、医薬品卸での実務実習の講義内容と参加人数等の報告を受け、集計結果を薬学教育協議会事務局及び日本薬剤師会に報告した。

4. 支部における継続研修の充実

2025 年度継続研修のテーマ

（1）医療用麻薬の適正使用 （2）ワクチン

(3) 糖尿病 (4) 喘息 (5) CKD (慢性腎臓病)

各支部においては上記テーマを中心に適宜選択し、支部選択テーマと併せて継続研修会が実施された。エリアにより支部単位での開催が難しく、ブロック単位で開催しているケースや複数支部と合同で開催しているケースもあり、年間の研修時間を意識した活動になっているとの報告があった。また、継続研修会は主に会員の情報共有や卸勤務薬剤師として意識の向上を目指した内容であるとの報告があった。

5. 卸勤務薬剤師会主催の「研修会」及び「フォーラム」の運営

(1) 「研修会」

2025 年 4 月 18 日、トラストシティカンファレンス・丸の内においてハイブリッド形式にて開催した。

演題 1 災害時の医薬品供給体制と支援薬剤師の活動

講師 公益社団法人日本薬剤師会 常務理事 山田 卓郎 氏

演題 2 卸勤務薬剤師こそ使いたい最新生成 AI の仕事活用術

講師 株式会社 MAKOTO Prime 代表取締役 竹井 智宏 氏

(2) 「フォーラム」

2026 年 1 月 23 日、Web ライブ配信にて開催した。

【薬制委員会発表】

演 題 中抜け返品等に関する情報共有

発表者 日本医薬品卸売業連合会 薬制委員会 澤井 直子 氏

日本医薬品卸売業連合会 薬制委員会 崎野 健一 氏

【特別講演】

演 題 医療 DX 時代のオンライン診療、オンライン服薬指導

講 師 特定非営利活動法人日本遠隔医療協会

特任上席研究員 長谷川 高志 氏

6. 日本薬剤師会への協力

(1) 日本薬剤師会卸薬剤師部会研修会

2025 年 12 月 19 日、Web ライブ配信にて開催した。

演題 1 薬学教育の現状について

講師 帝京平成大学 薬学部教授 学部長 亀井 美和子 氏

演題 2 日本薬剤師会の今後について

講師 公益社団法人日本薬剤師会 専務理事 上野 清美 氏

演題 3 薬事を巡る最近の動向及び医薬品卸業への期待

講師 参議院議員 神谷 政幸 氏

(2) 学術大会への協力

第 58 回日本薬剤師会学術大会が京都市において行われた。医薬品卸に関連する分科会等の開催はなかったが、『月刊卸薬業』2025 年 11 月号に学術大会聴講報告を

掲載した。

7. 実務委員会活動

本会ホームページ内〔お役立ち情報〕に掲載の毒物・劇物等関連資材の見直しを行い、「SDS 提供メーカーリンク」を更新した。また、現在「毒物・劇物事故対応マニュアル」の見直しを行っている。

8. 日本医薬品卸売業連合会（特に薬制委員会）との連携強化

令和7年度厚生科学審議会医薬品医療機器制度部会への委員派遣。中抜け返品等に関する情報共有について、データベース構築に向けた検討を行った。

II. 報告第2号（収支決算報告）

事務局より、2025年度収支決算報告があった。

1. 収入：会員は前年度より5名減り1,791名から会費を徴収し、1,074万6,000円を計上した。また、2025年度も卸連合会からの助成金550万円、日本薬剤師会からフォーラムへの協賛金50万円を計上し、前期繰越金641万6,158円を加え当期収入合計として2,490万4,910円との報告があった。
2. 支出：予算は事業費で951万円を予定したが、決算額として795万6,000円となり、155万4,000円のマイナスであった。また、人件費を含む管理費は772万4,758円となった。特定預金支出20万円を加え支出合計は1,588万758円となり、次期繰越金902万4,152円は2026年度の会費納入までの4月から6月の運営資金に充当するとの報告があった。また、会費納入状況と活動費実績についても報告があった。

III. 報告第3号（監査報告）

浅野監事より、2026年4月13日に監事1名による2025年度監査を実施し、適正であった旨の報告があった。

【協議事項】

以下の4議案が上程され、すべて原案通り承認された。

I. 議案第1号（事業計画案）

2026年度事業計画案が河西副会長から上程された。

2026年度は卸勤務薬剤師の自己研鑽のため、会員の実務に即した研修会等のより一層の充実と、行政や薬剤師会及び薬学教育協議会等との連携を強化した活動を実践する。また引き続き、卸連合会（特に薬制委員会）との連携を強化し、すべての事業につき感染症対策を行う。

1. 卸勤務薬剤師会の運営

2026年度は理事会1回、常任理事会2回、正副会長会議・実務委員会合同会議2回、実務委員会3回の開催を予定し、積極的な検討・企画・立案及びその展開を図る。

2. 都道府県薬剤師会と各ブロック（支部）との関係強化対策

各ブロック（支部）における薬剤師会との連携強化に努める。また行政及び医療系職能団体との良好な関係構築を図る。

3. 実務実習薬学生受入れについて

卸勤務薬剤師会として「ガイドライン」に沿った薬学生の教育を推奨し、教育内容、依頼先及び受入人数等を所定のフォーマットにて報告いただき、事務局より日本薬剤師会、薬学教育協議会に報告する。

4. 支部における継続研修の充実

2026 年度継続研修のテーマとして（１）脂質異常症 （２）ワクチン（３）不眠症（４）片頭痛（５）診療報酬改定（６）薬機法等一部改正の 6 項目を取り上げた。各支部においては各テーマを中心に適宜選択し、JGSP に規定されている、卸勤務薬剤師の継続教育訓練年間 10 時間以上をクリアするように研修の実施をお願いする。

5. 卸勤務薬剤師会主催の「研修会」及び「フォーラム」の運営

（１）「研修会」

日時 2026 年 4 月 17 日（金）14：15～17：05

会場 トラストシティカンファレンス・丸の内

丸の内トラストタワーN 館 11 階 Room2+3+4

演題 1 災害対応の現状と課題 ～災害支援に関わるすべての方へ～

講師 国立健康危機管理研究機構 DMAT 事務局 渡邊 暁洋 氏

演題 2 毒と薬と人類の歩み ～薬毒同源～

講師 日本薬科大学 客員教授 船山 信次 氏

以上の講演をハイブリッド形式にて開催予定である。

（２）「フォーラム」

2026 年度は、2027 年 1 月 22 日の開催を予定し、開催方法及び内容については、現在検討中である。

6. 日本薬剤師会への協力

（１）日本薬剤師会卸薬剤師部会研修会

2026 年度も日本薬剤師会卸薬剤師部会研修会を開催予定である。開催日程及び開催方法については、卸薬剤師部会にて今後決定する。

（２）学術大会への協力

第 59 回日本薬剤師会学術大会（新潟市）において、卸薬剤師部会を中心に学術大会に協力すべく、日本薬剤師会及び新潟県薬剤師会と調整を行う。

7. 実務委員会活動

本会ホームページにおいて掲載している資料の内容確認及び掲載方法を検討する。また、今後の研修会等のあり方について、各ブロック並びに支部の実施状況を勘案し、引き続き検討する。

8. 日本医薬品卸売業連合会（特に薬制委員会）との連携強化

2026 年度も薬制委員会との情報共有や課題解決に向けて連携強化を図る。ガイドラインに沿った実務実習薬学生の受入れ、改正された薬事制度への対処及び販売情報提供活動ガイドラインの遵守状況等について関係各所と連携し適切な対応を図る。

II. 議案第 2 号（収支予算案）

2026 年度予算編成方針並びに収支予算案が事務局より上程された。

1. 基本方針：本会組織の活性化及び会員の資質向上を図るための施策を基盤として予算編成する。
2. 収入：正会員・准会員ともに昨年同様会費は 6,000 円とし、正会員 1,773 名、准会員 18 名として 1,074 万 6,000 円、卸連合会からの助成金 550 万円、日本薬剤師会からのフォーラム助成金 50 万円、事業収入は 2025 年度決算額を勘案し 150 万円を計上した。前期繰越金を加え、収入合計 2,727 万 5,152 円を計上する。
3. 支出：2025 年度決算額を勘案して、事業費として 951 万円、管理費として 850 万円を計上した。また、特定預金支出 20 万円、予備費として 100 万円を計上し 2026 年度の支出合計は 1,921 万円となり次年度への繰越金、806 万 5,152 円を計上する。

III. 議案第 3 号（役員選任について）

役員の選任について会長より、田中（信）常任理事の後任として河村常任理事並びに柘植監事の後任として原田監事の指名があった。また、今年の理事会以降に交代があった理事についても指名があった。

IV. 議案第 4 号（年会費改定について）

2027 年度より年会費を 9,000 円に改定する案が事務局より上程された。

以上、理事会の議事はすべて議了し、澤井副会長の閉会宣言によって理事会を終了した。

年月日 4.17

関連会議等 2025 年度表彰式

協議・決定等特筆事項

顕彰者（支部報告）（敬称略）

山形県支部 大石 玲児（東邦薬品）令和 7 年度薬事功労者厚生労働大臣表彰

表彰者（ブロック推薦）（敬称略）

北海道 石川美智江（ほくやく）	東海 佐藤 寛子（メディセオ）
東北 斎藤 桂子（バイタルネット）	近畿 石倉いずみ（スズケン）
東京 該当者なし	中国 嘉門佐久良（エバルス）

関 東 松井 彩香（アルフレッサ） 四 国 渡部美奈子 （よんやく）
甲信越 阿部 倫子（マルタケ） 九 州 谷口 智子 （アトル）
北 陸 大浦 麻由（メディセオ）

年月日 6.12

関連会議等 第1回実務委員会

協議・決定等特筆事項

川守田委員長より挨拶があり、その後、本会創立 50 周年記念事業並びに 2026 年度「フォーラム」等について検討した。

【報告事項】

1. 2026 年度第 49 回理事会について

事務局より、議事要旨に基づき 4 月 17 日に開催された第 49 回理事会について報告があった。

2. 2026 年度「研修会」について

事務局より、第 49 回理事会後に開催された 2026 年度「研修会」について受講者数及び収支等について報告があった。

【検討事項】

1. 毒物・劇物事故対応マニュアルの更新について

2016 年 9 月に作成した毒物・劇物事故対応マニュアルの更新について、各委員から指摘のあった意見に基づき、委員長より修正案が提示され検討した。本日の検討結果を取りまとめ、更新することとした。

2. 創立 50 周年記念事業について

創立 50 周年記念事業案にて、記念講演会講師並びに記念祝賀会の時間配分等について検討した。詳細については、次回の正副会長会議・実務委員会合同会議に諮り、記念事業全体の構成を検討することとした。

3. 2026 年度「フォーラム」について

2026 年度「フォーラム」の日程並びに内容について検討した。開催日は 2027 年 1 月 22 日とし、開催方法並びに内容については、本日の協議を基に次回の委員会で決定することとした。

4. その他

現在 1 名欠員となっている実務委員の補充について、事務局より連絡があった。